

令和7年度 委託仕様書

委託名	管渠調査業務委託（荒上）
委託箇所	荒川上流幹線（深谷市永田地内）ほか
委託大要	<p>委託期間： 契約日 ～ 令和8年3月13日</p> <p>委託内容： 荒川上流流域下水道管渠の本管TVカメラ調査及び本管潜行目視調査並びにマンホール目視調査、管渠伏越部の清掃及び土砂等の荒川上流水循環センターへの収集・運搬業務一式</p> <p>調査箇所：</p> <p>荒川上流流域下水道</p> <p>（1）荒川上流幹線 アラー3、アラー4入～アラー5 アラー23～アラー36 アラー38～アラー39（2路） アラー58～アラー59</p> <p>本管TVカメラ調査 71.76 m 本管潜行目視調査 1250.62 m マンホール目視調査 17 か所</p> <p>（2）寄居幹線 ヨリー1～No.4仕切弁 本管TVカメラ調査 21.85 m</p> <p>（3）場内返送管 汚水ー9～汚水ー5 本管TVカメラ調査 1.5 m</p> <p>（4）荒川上流幹線伏越部 アラー39～38管渠内清掃（蟹沢排水路） 1 水路</p>

本委託費	内訳書
------	-----

[illegible]

直接作業費

A - 1 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
本管TVカメラ調査工(場内調査)	式	1			B - 1 代価表
本管TVカメラ調査工(一般道調査)	式	1			B - 2 代価表
本管潜行目視調査工(一般道調査)	式	1			B - 3 代価表
マンホール目視調査工(一般道調査)	式	1			B - 4 代価表
報告書作成工(一般道調査)	式	1			B - 5 代価表
報告書作成工(場内調査)	式	1			B - 6 代価表
清掃工	式	1			B - 7 代価表
土砂処分工	式	1			B - 8 代価表
水替工	式	1			B - 9 代価表
安全費	式	1			B - 1 0 代価表
計					

間接作業費

A-2 代価表

[illegible]

本管TVカメラ調査工(場内調査) B-1 代価表

[illegible]

マンホール目視調査工(一般道調査) B-4 代価表

[illegible]

報告書作成工（一般道調査） B-5 代価表

[illegible]

報告書作成工（場内調査）

B－6 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
報告書作成工					
本管TVカメラ調査	m	1.50			C－4代価表
印刷製本費	式	1			
計					

土砂処分工

B－8 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
揚泥車運搬工(夜間)	m ²	2.02			C－9代価表
トラッククレーン運転工(夜間)	日				C－15代価表
計					

水替工

B-9 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
潜水ポンプ運転工	日				C-10 代価表
ポンプ据付撤去費 夜間	式	1			C-11 代価表
角落し据付撤去費 夜間	式	1			C-12 代価表
計					

共通仮設費		(一般道調査)		B－1 1		代価表	
種 別		単位	数量	単価	金額	摘要	
一般道視覚調査							
共通仮設費	清掃工・土砂処分工・水替工	式	1				
事業損失防止施設費		式	1			C－1 4 代価表	

本管TVカメラ調査工

(内径 800mm未満) 夜間 (1 m当り)

C-1 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管路調査技師	人				
管路調査助手	人				
管路調査作業員	人				
TVカメラ搭載車運転工 95.5kW (130PS) 2t	日				
計					1 日当り
1 m当り					
内径150mm～800mm未満					

C-2 代価表

C-2 代価表

種別	単位	数量	単価	金額	摘要
管路調査技師	人				
管路調査助手	人				
管路調査作業員	人				
ライトバン運転工 56kW(76PS) 1500cc	日				D-1代価表
計					1日当り
1 m当り 内径800mm～1500mm未満					

夜間（1か所当り）

C-3 代価表

[illegible]

報告書作成工 (本管TV調査工)
(1m当り)

C-4 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管理技師	人				
管路調査技師	人				
管路調査助手	人				
DVD	枚	3			
CD-R	枚	3			
写真代	式	1			
諸雑費	式	1			
計					1日当り
1m当り					

報告書作成工 (本管潜行目視調査工・800mm以上) C-5 代価表
(1mあたり)

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管理技師	人				
管路調査技師	人				
管路調査助手	人				
C D-R	枚	3			
写真代	式	1			
諸雑費	式	1			
計					1 日当り
1 m当り					

報告書作成工 (マンホール目視調査工)
(1か所あたり)

C-6 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管理技師	人				
管路調査技師	人				
管路調査助手	人				
C D-R	枚	3			
写真代	式	1			
諸雑費	式	1			
計					1日当り
1か所当り					

交通整理員費

C-7 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管渠調査業務					
交通整理員 A (夜間)	人				
管渠調査業務					
交通整理員 B (夜間)	人				
計					

夜間

(1日当り)

C-8 代価表

[illegible]

夜間 (1 m³当り)

C-9 代価表

[illegible]

角落し据付撤去費

C－１２ 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役					
夜間	人				
特殊作業員					
夜間	人				
計					

交通整理員費

C-13 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
管渠清掃業務					
交通整理員 A (夜間)	人				
管渠清掃業務					
交通整理員 B (夜間)	人				
計					

事業損失防止施設費

C-14 代価表

種 別	単位	数量	単価	金額	摘要
簡易トイレ賃料	式	1			D-2代価表
トラック運転 1.5t積み	日				D-3代価表
計					

ライトバン運転工(1日当り) D-1 代価表

[illegible]

簡易トイレ賃料

D-2 代価表

[illegible]

トラック運転 1.5t車(1日当り) D-3 代価表

[illegible]

特 記 仕 様 書

委 託 名 管渠調査業務委託（荒上）
委託箇所 荒川上流幹線（深谷市永田地内）ほか
委託期間 契約日～令和8年3月13日

公益財団法人埼玉県下水道公社

1. 適用範囲	この特記仕様書は、本委託に適用し、公益財団法人埼玉県下水道公社業務委託標準仕様書を補足する必要な事項を定めるものとする。										
2. 概要	<p>本委託は、次の管渠（幹線）の管渠内調査を行うものとする。</p> <p>(1) 荒川上流幹線（一部）</p> <p>(2) 寄居幹線（一部）</p> <p>(3) 場内返送管（一部）</p>										
3. 調査区間	<p>調査区間は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 荒川上流幹線 アラー3、アラー4入～アラー5、アラー23～アラー36 アラー38～アラー39（2路）、アラー58～アラー59</p> <table> <tr> <td>本管TVカメラ調査</td><td>71.76 m</td></tr> <tr> <td>本管潜行目視調査</td><td>1,250.62 m</td></tr> <tr> <td>マンホール目視調査</td><td>17 か所</td></tr> </table> <p>(2) 寄居幹線 ヨリー1～No.4仕切弁</p> <table> <tr> <td>本管TVカメラ調査</td><td>21.85 m</td></tr> </table> <p>(3) 場内返送管 汚水ー9～汚水ー5</p> <table> <tr> <td>本管TVカメラ調査</td><td>1.5 m</td></tr> </table> <p>(4) 荒川上流幹線伏越部 アラー39～38管渠内清掃（蟹沢排水路）Φ400 1水路</p> <p>注1) 調査区間の詳細は、別紙1及び図面または下水道台帳を参照のこと。</p>	本管TVカメラ調査	71.76 m	本管潜行目視調査	1,250.62 m	マンホール目視調査	17 か所	本管TVカメラ調査	21.85 m	本管TVカメラ調査	1.5 m
本管TVカメラ調査	71.76 m										
本管潜行目視調査	1,250.62 m										
マンホール目視調査	17 か所										
本管TVカメラ調査	21.85 m										
本管TVカメラ調査	1.5 m										
4. 業務内容	<p>委託は、埼玉県下水道局で定めている「管路施設の維持管理要領に従い、次の作業を実施（判定基準は別紙2参照）すること。</p> <p>(1) マンホール（人孔）目視調査 マンホール（人孔）目視調査の写真撮影は、1か所当り3枚を基準とする。 ただし、異常箇所については、随時撮影する。また、管口は、上流側下流側共に調査を実施すること。</p> <p>(2) 管渠調査 管渠調査のうち内径800mm未満は本管TVカメラ調査、800mm以上は本管潜行目視調査を行う。 本管TVカメラ調査及び本管潜行目視調査の写真撮影は、5m毎を基準とする。 また、それぞれ直視1枚、側視2枚を撮影する。ただし、異常箇所については随時撮影する。</p> <p>(3) 伏越し管渠内清掃 水路切替時の角落しの撤去、据付作業 伏越部の排水作業（排水ポンプの設置及び撤去作業） ※作業日毎にポンプを管渠内に設置し、排水は下流へ流すこと。 伏越部、マンホール（ピット）内及び伏越管路内の土砂等の除去、清掃作業発生土砂等の運搬作業（荒川上流水循環センター（深谷市菅沼984）まで） ※運搬場所は監督員の指示する場所とする。 写真撮影は伏越し全箇所を撮影すること。ただし、管渠内からの撮影が困難な</p>										

場合は場下流管口から撮影すること。

(4) 報告書(別紙3参照)の作成

調査結果の報告については、紙による報告に併せて電子データでも行う。

なお、電子データについては、委託者より提供する電子ファイルに入力し提出する。

また、その報告書類についても電子データを作成し、以上電子ファイルと併せてCD-Rに記録し、3部提出する。

(5) 作業完了報告

作業完了の報告について、1月～2月の間に荒川左岸北部下水道事務所の同席により実施すること。

5. 提出書類

受託者は、約款及び標準仕様書に基づく書類の他、次のものを提出する。

(1) 道路使用許可証の写し

(2) 有害ガス濃度測定記録

(3) 酸素欠乏危険作業主任者届(技能講習修了書写し添付)

(4) 管渠・人孔調査の結果については、電子データ(別紙3の様式どおり)及び製本版3部

(5) 異常箇所報告書(ランクA、B抜粋)2部

(6) 産業廃棄物収集運搬業許可証(汚泥)の写し

(7) その他、監督員から指示があったもの

6. 第三者等に
及ぼした
損害

受託者は、委託業務の履行に伴い第三者等に損害を与えないための注意義務を怠ってはならない。また、受託者の責に帰すべき理由により生じた損害は、受託者がその損害を賠償するものとする。

7. 安全管理
及び注意
事項

作業上の注意事項については、次のとおりとする。

(1) 管渠内及びマンホール(人孔)内の作業にあたっては、酸欠・有害ガス及び流入水量等に十分注意をはらい、事故防止のため万全の準備をしておかなければならない。

(2) 作業員が管内で作業する前及び作業中は、必ず管渠内に空気を送風する。

(3) 酸素欠乏症等防止規則等関係法令を遵守する。

(4) 管渠内を出入りするときには、墜落に十分注意する。深さが2m以上ある場合は墜落制止用器具を使用する等、安全対策を徹底する。

(5) 不等沈下しているか所もあるので、流されないように十分注意し、流れ防止対策を行った後、調査等実施する。

(6) 道路上で作業するときは、道路使用許可を受け許可条件に従い、十分注意し安全に作業を行う。必ず現場の状況の応じた適切な保護柵、注意灯及び

標識を設置し、必要に応じて交通誘導員を配置する。

- (7) 夜間作業においては、必要以上の物音を立てないようにし、住民の安眠を妨げない。
- (8) 安全装置・安全施設等は、十分に用意しておく。
 - ア 有害ガス濃度計
 - イ 空気ボンベ
 - ウ 安全帯・ロープ
 - エ 標示板・バリケード・すずらん灯・回転灯
 - オ その他
- (9) 調査区間内周辺の住民に作業内容を明記した看板を立て、協力を要請する。
- (10) 作業日毎に作業実施有無を監督員と協議した上で作業を実施する。
- (11) 現場作業においては、各現場単位で緊急連絡がとれる体制で実施する。
- (12) 埼玉県北西部（深谷市、寄居町）に大雨・洪水に係る注意報または警報が発令されている場合は、作業を行わないこと。
また、作業中に発令された場合にも速やかに作業を中止する。
- (13) 作業中に異常があった場合は、ただちに作業を中断し監督員に連絡すること。
- (14) 有害ガスの飛散その他事故が発生した場合は、直ちに監督員に連絡することとともに必要な応急処置を行うこと。
- (15) 酸素欠乏危険作業場所及び類似の危険作業においては、法令で定められた作業主任者講習や特別教育終了者以外の者が業務に就かないこと。また、作業主任者を選任すること。
- (16) 受注者は、清掃時に汚水が飛散するのを防止するとともに、作業終了時にはマンホール付近を高圧洗浄車等で清掃すること。また悪臭及び汚水の流出等に十分注意すること。

8. 関係法規

受託者は本業務の実施にあたり労働安全衛生法・道路交通法等関係諸法規を遵守しなければならない。

9. 衛生管理

日本下水道管路管理業協会により、「下水道管路管理に関する安全衛生マニュアル」に基づき対策を実施する。

なお本委託については、車両の荷台に簡易トイレを設置し、現場作業中はこれを使用するものとする。

10. その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて受託者、委託者が協議して定めるものとする。

調査箇所・距離一覧表

別紙1

[illegible]

本 管 調 査 判 定 基 準

別紙2-1

項目 \ ランク		A	B	C
1) 管 の 腐 食		鉄筋露出状態	骨材露出状態	表面が荒れた状態
2) 上下方向 のたるみ	管きょ内径 700mm未満	内径以上	内径の1/2以上	内径の1/2未満
	管きょ内径 700mm以上 1650mm未満	内径の1/2以上	内径の1/4以上	内径の1/4未満
	管きょ内径 1650mm以上 3000mm未満	内径の1/4以上	内径の1/8以上	内径の1/8未満
	3000mm以上の管きょについては、管きょ内径1650mm以上3000mm以下に準ずる			
3) 管の破損	鉄 筋 コンクリート管等	欠 落 軸方向のクラックで 幅5mm以上	軸方向のクラックで 幅2mm以上 幅5mm未満	軸方向のクラックで 幅2mm未満
	陶 管	欠 落 軸方向のクラックが 管長の1/2以上	軸方向のクラックが 管長の1/2未満	—
4) 管の クラック	鉄 筋 コンクリート管等	円周方向のクラックで 幅5mm以上	円周方向のクラックで 幅2mm以上幅5mm未満	円周方向のクラックで 幅2mm未満
	陶 管	円周方向のクラックで その長さが円周の2/3以上	円周方向のクラックで その長さが円周の2/3未満	—
5) 管の継手ズレ		脱 却	鉄筋コンクリート管等: 70mm以上	鉄筋コンクリート管等: 70mm未満
			陶 管: 50mm以上	陶 管: 50mm未満
6) 浸 入 水		噴き出ている	流れている	にじんでいる
7) 取付管の突出し 注		本管内径の1/2以上	本管内径の1/10以上	本管内径の1/10未満
8) 油 脂 の 付 着 注		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
9) 樹 木 根 侵 入 注		内径の1/2以上閉塞	内径の1/2未満閉塞	—
10) モ ル タ ル 付 着 注		内径の3割以上	内径の1割以上	内径の1割未満

注1 段差は、mm単位で測定する。また、その他異常(木片、他の埋設物等で上記にないもの)も調査する。

注2 7)取付管の突出し、8)油脂の付着、9)樹木根侵入、10)モルタル付着については、基本的に清掃等で除去できる項目とし、除去できない場合の調査判定基準とする。

出典 日本下水道協会発行「下水道管路施設の点検・調査マニュアル」

マンホール目視調査判定基準

別紙2-2

部 位		調査項目	判定基準			備考
			Aランク	Bランク	Cランク	
人 孔	調整部 ※天端・調整 コンクリート	調整部状況	調整モルタル及びリ ングが破損・欠落	調整モルタル及びリング のずれ・クラック	調整モルタル及び リングのずれ	
	内壁等 ※内壁・スラブ ・管口・副管	腐食	鉄筋露出	骨材露出	表面の荒れ	
		破損	欠落・陥没	全体に亀裂	軽微な破損	
		クラック	全体がクラック (人孔全周・幅5mm以上)	部分的にクラック (人孔半周・幅2～5mm以上)	軽微なクラック (幅2mm未満)	
		隙間・ズレ	全体が脱却	一部が脱却	わずかの隙間・ズレ	
		浸入水	噴き出ている状態	流れている状態	にじんでいる状態	
		木根侵入	内径の50%以上	内径の10～50%以上	内径の10%未満	
		タルミ	内径の3/4以上	内径の1/2～3/4	内径の1/2未満	
	足掛金物	腐食・ 劣化状況	欠落している	鉄筋が細くなっている	錆の発生	
	インバート	インバート状況	インバートがない	部分的な欠損	—	
	全体	臭気	常に発生	使用ピーク中に発生	季節的に発生	
流下状況		油脂・モルタル・ 土砂等の堆 積状況	管径の1/3以上 の付着	管径の1/3～1/10 の付着	管径の1/10未満 の付着	

管渠調査総括表

- 1 委 託 名
2 委託箇所
3 調査実施総延長

調査箇所	調査実施区間	調査距離 (m)	備 考
計			

4 調査結果

[illegible][illegible]

本管調査判定基準に基づいた異常箇所ランクA集計表

別紙3-2

人孔間番号	工法	管きよ 内径 (mm)	管きよ 延長 (m)	Aランクの項目											備考
				管の 腐食	上下方向 のたるみ	管の 破損	管の クラック	管の 継手ズレ	浸入水	取付管 の突出し	油脂の 付着	樹木根 侵入	モルタル 付着	計	
合計															
備考															

マンホール目視調査判定基準に基づいた異常箇所ランクA集計表

別紙3-3













人孔番号	占用道路		人孔種別		Aランクの項目																		人孔内環境				
					調整部	内壁						スラブ				管口・副管				足掛金物	インバート	全体	流下状況	計	酸素濃度 %	硫化水素濃度 ppm	
	道路管理者	占用位置	種別	人孔号 /寸法		状況	腐食	破損	クラック	隙間ズレ	浸入水	木根侵入	腐食	破損	クラック	隙間ズレ	腐食	破損	クラック								隙間ズレ
合計																											
備考																											

T Vカメラ調査集計表（管渠）

受託者

[illegible]

TVカメラ調査記録表（管渠）











上流人孔番号	人孔深さ(m)	管頂深(m)		路線番号	工法	管渠(mm)	路線延長(m)		下流人孔番号	人孔深さ(m)	管頂深(m)	写真帳目次	人孔占有位置
													(1) 国道、都道、県道その他 (2) 歩道、私道、緑樹帯 (3) 宅地内 (4) 上記以外 該当番号 番
													記事欄
													道路交通概況
													昼間 夜間
													生活環境概況
													住宅地 工場 畑地 山林
距離(m)	異常内容	4分割	判定ランク	備考	写真帳目次(P)	距離(m)	異常内容	4分割	判定ランク	備考	写真帳目次(P)	考察	過去の補修状況
													
													
													
													
													
													

本管潜行目視調査集計表（管渠）

受託者

[illegible]

本管潜行目視調査記録表（管渠）

上流人孔番号	人孔深さ(m)	管頂深(m)		路線番号	工法	管渠(mm)	路線延長(m)		下流人孔番号	人孔深さ(m)	管頂深(m)	写真帳目次	人孔占有位置
													(1) 国道、都道、県道その他 (2) 歩道、私道、緑樹帯 (3) 宅地内 (4) 上記以外 該当番号 番
記事欄													
道路交通概況													
昼間													
夜間													
生活環境概況													
住宅地													
工場													
畑地													
山林													
距離(m)	異常内容	4分割	判定ランク	備考	写真帳目次(P)	距離(m)	異常内容	4分割	判定ランク	備考	写真帳目次(P)	考察	過去の補修状況
													
													
													
													
													
													

マンホール目視調査集計表（人孔）

受託者

[illegible]

マンホール目視調査記録表（人孔）

人孔番号	人孔蓋種別	人孔深(m)	上流管管頂深(m)	下流管管頂深(m)	足掛金物	目地	上流管径(φ)	下流管径(φ)	合流管径(φ)

項目	内容	判定	写真帳	備考	人孔断面図	人孔平面図
		ランク	目次			
調整部						
内壁						
スラブ						
管口・副管						
足掛金物						
インバート						
全体						
流下状況						

人孔占有位置	生活環境状況
車道・歩道・宅地内・その他	住宅地・工場・畑地・その他

考察

写真

写真

写真

指定路線一覧表

No.	号線	路線名	No.	号線	路線名
1	－	一般国道4号	37	52号	県道越谷流山線
2	－	一般国道16号	38	54号	県道松戸草加線
3	－	一般国道17号	39	56号	県道さいたまふじみ野所沢線
4	－	一般国道122号	40	62号	県道深谷寄居線
5	－	一般国道125号	41	65号	県道さいたま幸手線
6	－	一般国道140号	42	66号	県道行田東松山線
7	－	一般国道254号	43	67号	県道葛飾吉川松伏線
8	－	一般国道298号	44	68号	県道練馬川口線
9	－	一般国道299号	45	78号	県道春日部菖蒲線
10	－	一般国道354号	46	80号	県道野田岩槻線
11	－	一般国道407号	47	102号	県道平方東京線
12	－	一般国道462号	48	109号	県道新座和光線
13	－	一般国道463号	49	111号	県蕨桜町線
14	1号	県道さいたま川口線	50	113号	県道川越新座線
15	2号	県道さいたま春日部線	51	114号	県道川越越生線
16	3号	県道さいたま栗橋線	52	115号	県道越谷八潮線
17	5号	県道さいたま菖蒲線	53	116号	県道八潮三郷線
18	6号	県道川越所沢線	54	126号	県道所沢堀兼狭山線
19	10号	県道春日部松伏線	55	146号	六万部久喜停車場線
20	11号	県道熊谷小川秩父線	56	153号	県道幸手久喜線
21	12号	県道川越栗橋線	57	164号	県道鴻巣桶川さいたま線
22	15号	県道川越日高線	58	173号	県道ときがわ熊谷線
23	27号	県道東松山鴻巣線	59	179号	県道所沢青梅線
24	29号	県道草加流山線	60	195号	県道富岡入間線
25	30号	県道飯能寄居線	61	213号	県道曲本さいたま線
26	34号	県道さいたま草加線	62	214号	県道新方須賀さいたま線
27	35号	県道川口上尾線	63	239号	県道足立川口線
28	36号	県道保谷志木線	64	257号	県道青山熊谷線
29	38号	県道加須鴻巣線	65	261号	県道笠幡狭山線
30	39号	県道川越坂戸毛呂山線	66	266号	県道ふじみ野朝霞線
31	40号	県道さいたま東村山線	67	311号	県道蓮田鴻巣線
32	46号	県道加須北川辺線	68	323号	県道上尾環状線
33	47号	県道深谷東松山線	69	324号	県道蒲生岩槻線
34	49号	県道足立越谷線	70	326号	県道川藤野田線
35	50号	県道所沢狭山線	71	334号	県道三芳富士見線
36	51号	県道川越上尾線	72	376号	県道上笹塚谷口線

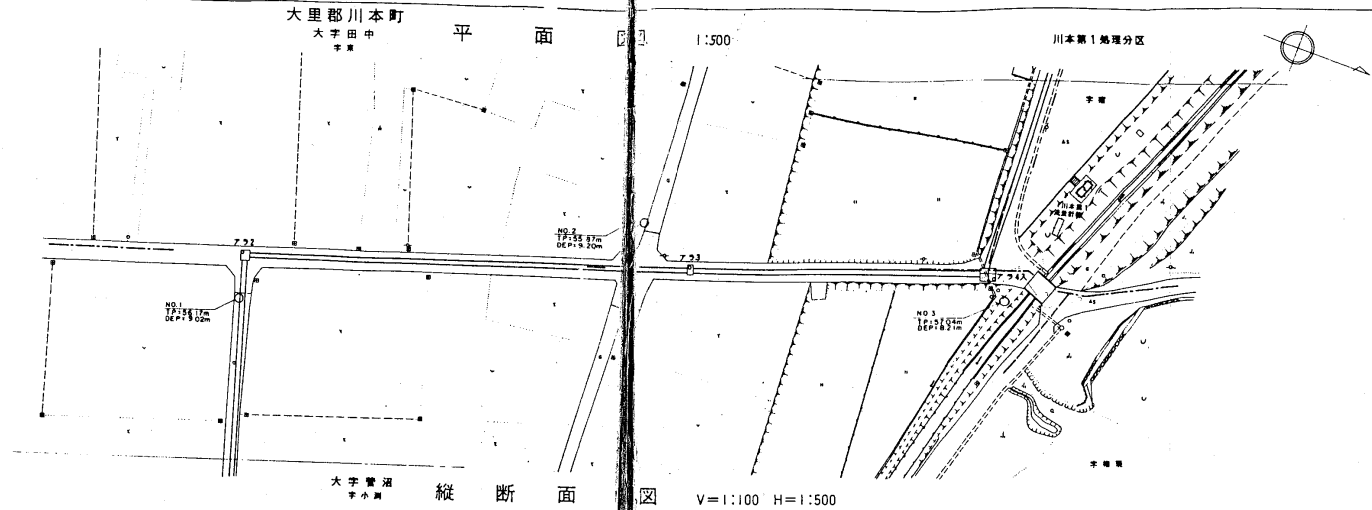
図 面 リ ス ト

[illegible]

荒川上流流域下水道台帳図

図面番号 1002 (荒川上流幹線)

埼玉県



管渠断面図
1:50

下水道用排水管



荒川上流幹線
B形1号

使用水準基標

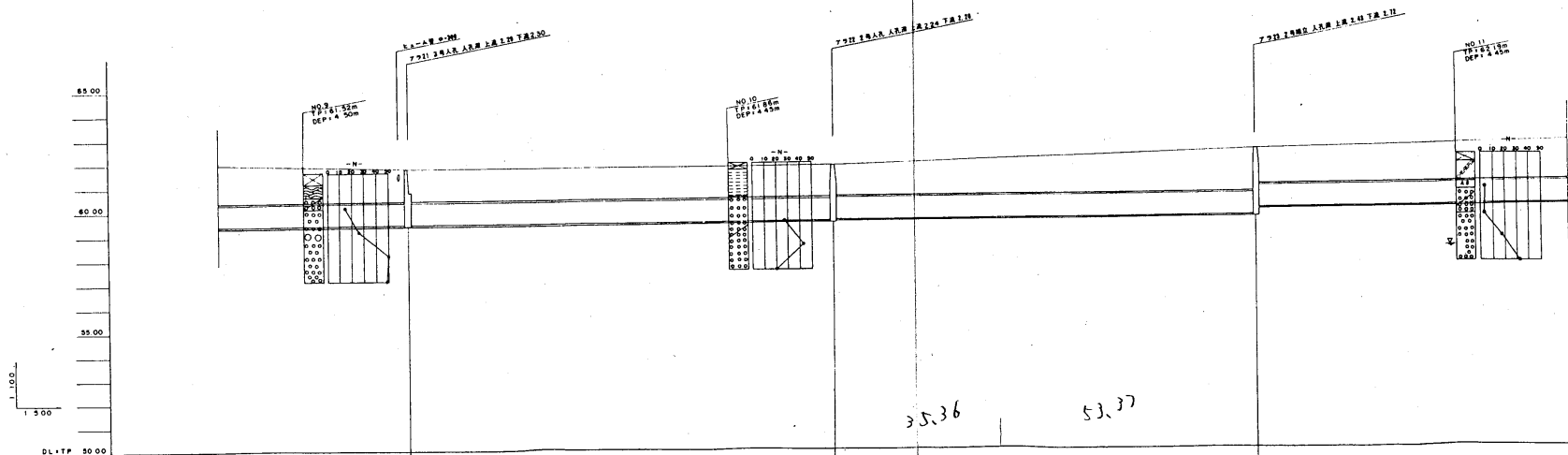
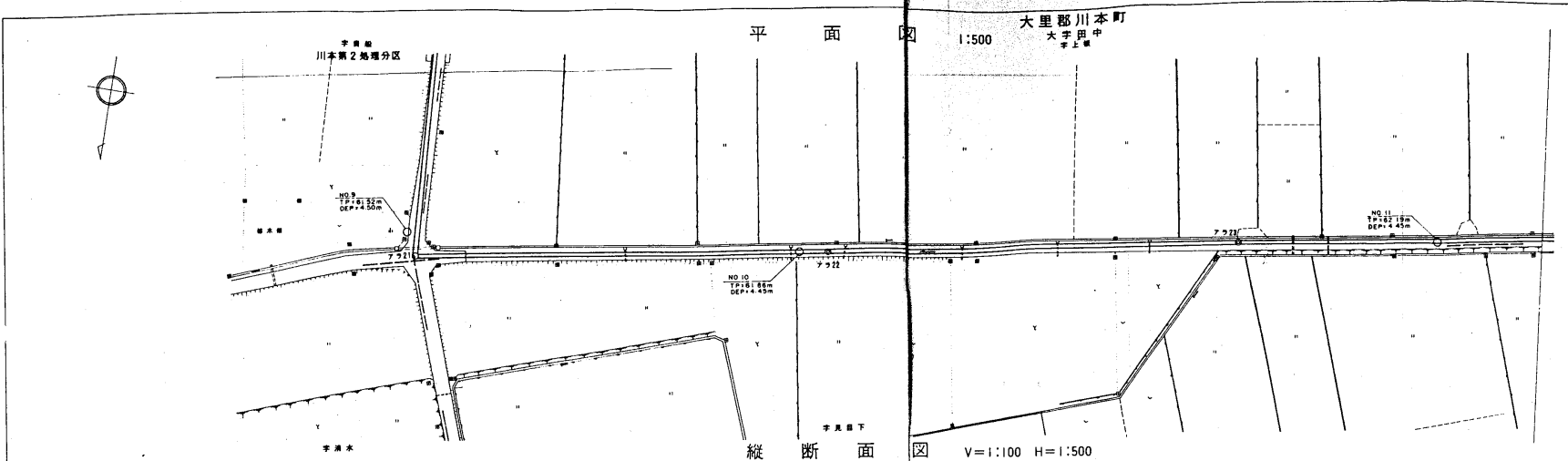
埼玉県地盤沈下基標 平成4年1月1日成果			
基標番号	点	高	所在地
478	T.P. 96.301m		喜望野大字榑崎25-1地内 喜望野町民会館前
53-36	T.P. 74.111m		花巻町大字田中1043 花巻町民会館前
52-24	T.P. 58.841m		川本町大字田中471 川本町民会館前

凡 例	
----	行政境界
-----	処理分界
----	幹線・連幹線
○	中間マンホール
□	接続マンホール
⊕	流入マンホール
→	下水の流れ方向
●	公共下水道マンホール
●	個人

荒川上流流域下水道台帳図

図面番号 1007 (荒川上流幹線)

埼玉県



使用水準基標

埼玉県地盤沈下基標

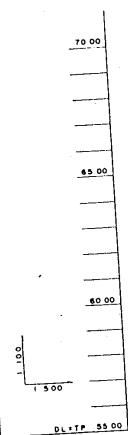
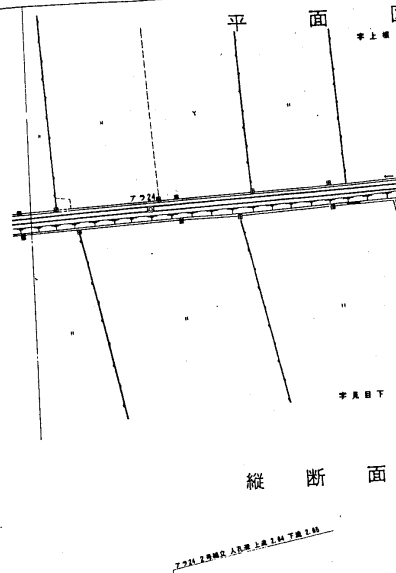
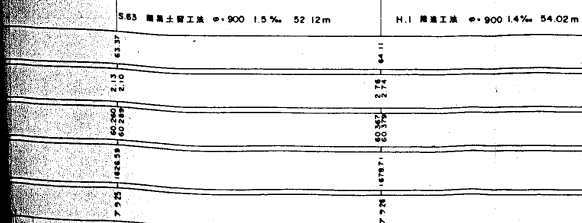
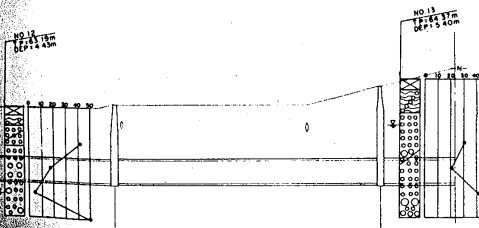
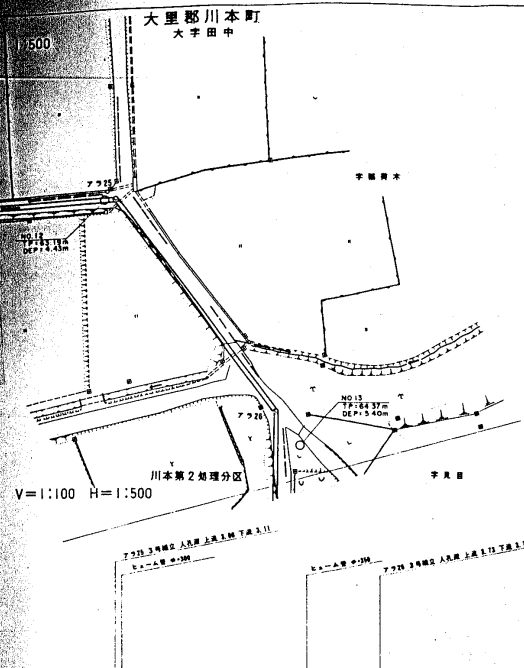
平成4年1月1日成果

基標番号	高さ	所在地
478	T.P. 94.201m	喜望峯大字喜望峯795-166号 喜望峯町喜望峯分所
53-30	T.P. 74.111m	花巻町大字永田1063 花巻町永田分所
52-26	T.P. 59.841m	川本町大字田中171 川本町田中分所

凡 例	
-----	行政区域界
-----	処理分区界
-----	幹線・準幹線
○	中間マンホール
⊗	接続マンホール
⊕	流入マンホール
→	下水の流れ方向
○	公共下水道マンホール
●	個人用

管渠番号	管径	管長	管底高	管頂高	管底径	管頂径	管底高	管頂高	管底径	管頂径	管底高	管頂高
5.63	管渠工事	φ-900	1.4%	54.03m	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73
5.63	木矢管工事	φ-900	1.1%	88.86m	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73
5.63	木矢管工事	φ-900	1.2%	88.73m	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73
5.63	木矢管工事	φ-900	1.3%	88.65m	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73	41.73

129.22 23 ← 2-4 2-4 → 2-5

[illegible]

管渠断面图

1:50

~~下水道用推進管~~



下水道用推進管



使用水準基標

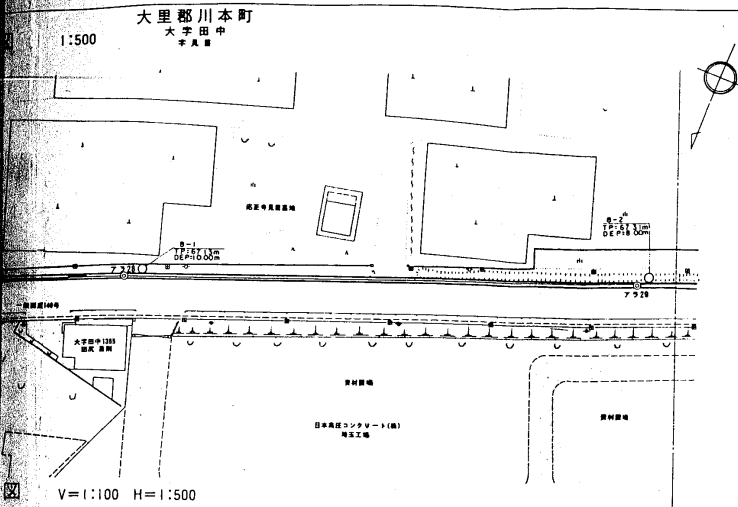
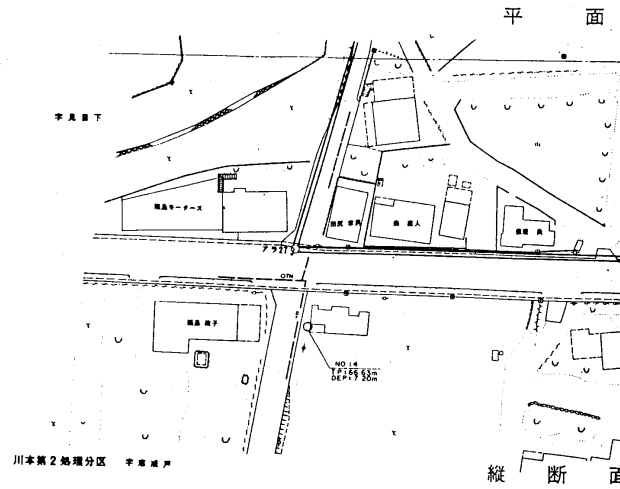
埼玉県地盤沈下基振

平成4年1月1日成果

基群番号	高 高	所 在 地
470	T.P. 96.30m	富原町大字堀田295-13 富原町豊盛稲俣
53-30	T.P. 74.11m	花畑町大字永田1083 花畑町刈田惣集西支部
52-26	T.P. 56.94m	川本町大字田中471 川本町豊盛武川支部

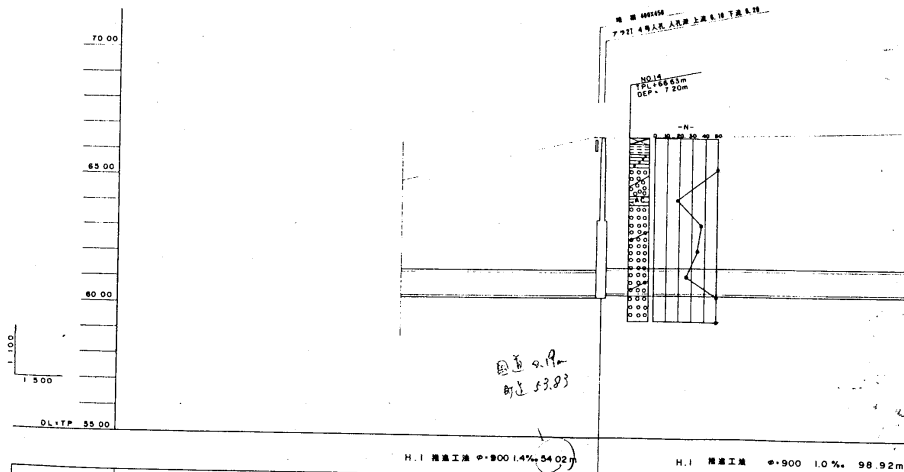
凡 例

行政区界	行政区界
処理分区界	処理分区界
幹線・準幹線	幹線・準幹線
中間マンホール	中間マンホール
接続マンホール	接続マンホール
流入マンホール	流入マンホール
下水の流れ方向	下水の流れ方向
公共下水道マンホール	公共下水道マンホール
個人	個人

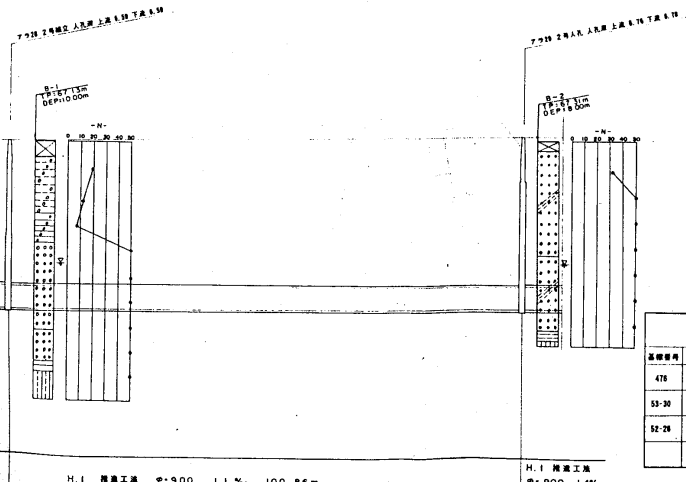


管渠断面図
1:50

下水道用推進管



製鉄工場	66.51
土からり	57.71
車庫	55.00
電気設備	53.83
河	77.21



製鉄工場	66.51
土からり	57.71
車庫	55.00
電気設備	53.83
河	77.21

使用水準基準

埼玉県地盤沈下基準
平成4年1月1日成果

基準番号	高さ	所在地
476	T.P. +66.30m	埼玉県大里郡川本町29-1地内 花田町農協事務所
53-30	T.P. +74.11m	花田町大字田中1043 花田町農協事務所
52-28	T.P. +58.94m	川本町大字田中471 川本町農協事務所

凡例

—	行政区界
---	処理区分界
—	幹線・連幹線
○	中間マンホール
□	接続マンホール
⊕	流入マンホール
→	下水の流れ方向
○	公共下水道マンホール
●	個人井

荒川上流流下水道台帳図
図面番号 1010 (荒川上流幹線)

埼玉県

平面図 1:500

大里郡川本町
大字田中
字見目

字之上

管渠断面図 1:50

下水道用推進管

縦断面図 V=1:100 H=1:500

使用水準基標

埼玉県地籍課沈下基標

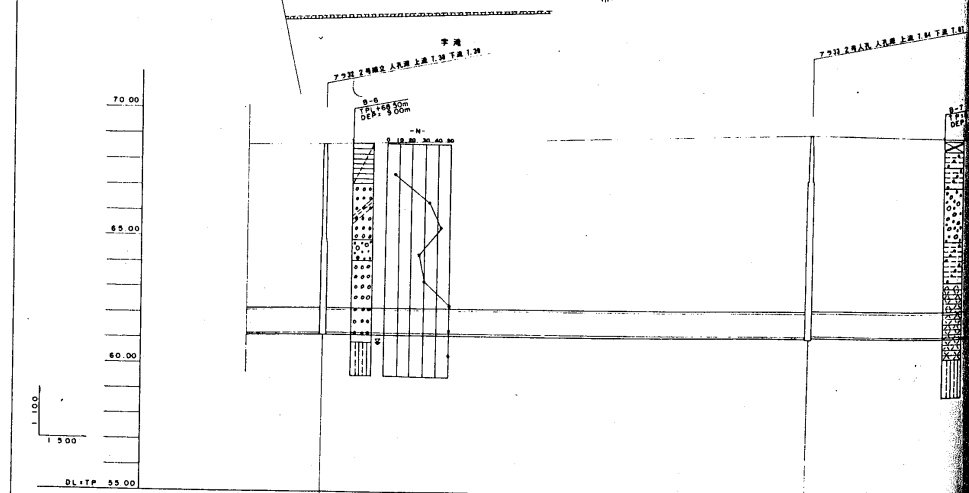
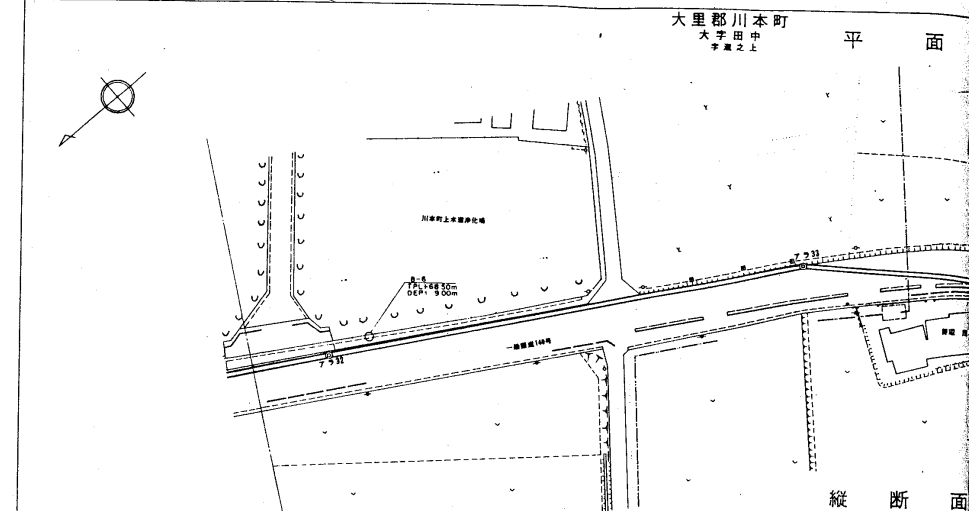
平成4年1月1日成果

基標番号	基 高	所 在 地
478	T.P. 94.30m	喜連町大字新田295-1地内 喜連町農協倉庫跡
53-30	T.P. 74.11m	花柳町大字永田1003 花柳町消防団第2支部
52-26	T.P. 56.84m	川本町大字田中411 川本町農協武川支所

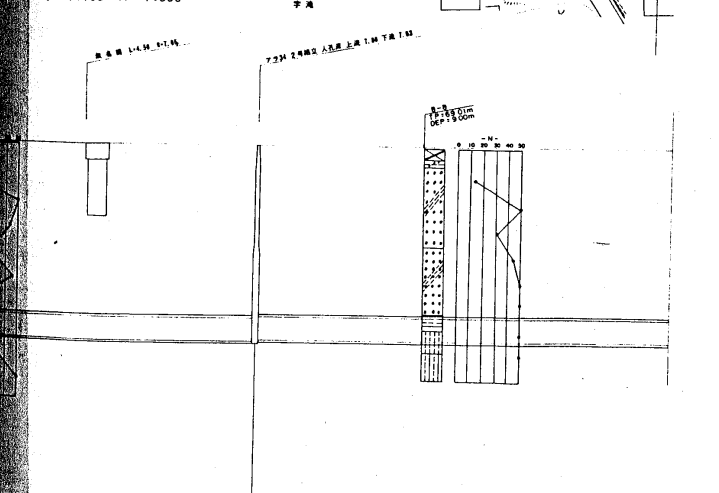
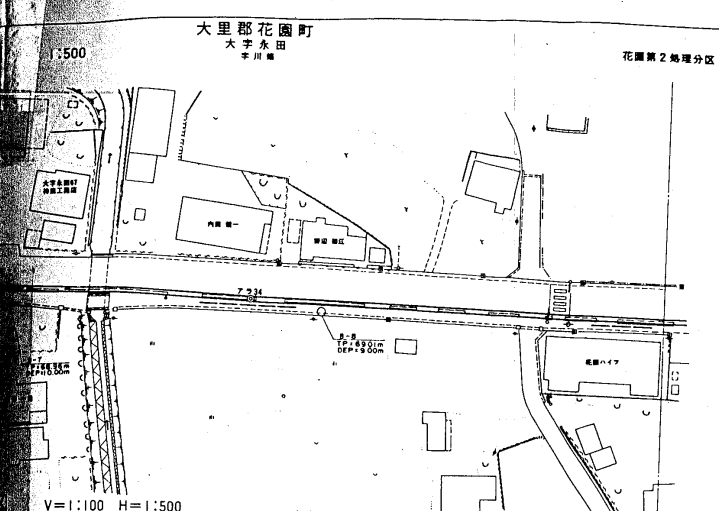
凡 例	
—	行政境界
---	処理分界
---	幹線・準幹線
○	中間マンホール
□	接続マンホール
⊕	流入マンホール
→	下水の流れ方向
○	公共下水道マンホール
●	個人 井

荒川上流流道台帳図
図面番号 1011 (荒川上流流道台帳図)

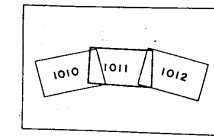
埼玉県



H.I 埋設工法	φ900	1.5%	94.72m
H.I 埋設工法	φ900	1.5%	94.86m
H.I 埋設工法	φ900	1.0%	93.49m
H.I 埋設工法	φ900	1.0%	93.55m



H.I 埋設工法	φ900	1.5%	94.72m
H.I 埋設工法	φ900	1.5%	94.86m
H.I 埋設工法	φ900	1.0%	93.49m
H.I 埋設工法	φ900	1.0%	93.55m



管渠断面図

1:50

下水道用標準管



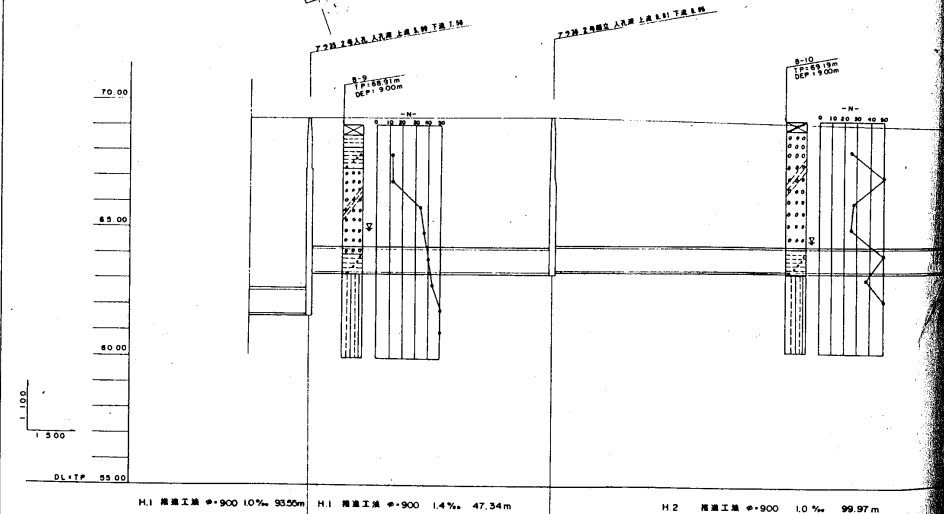
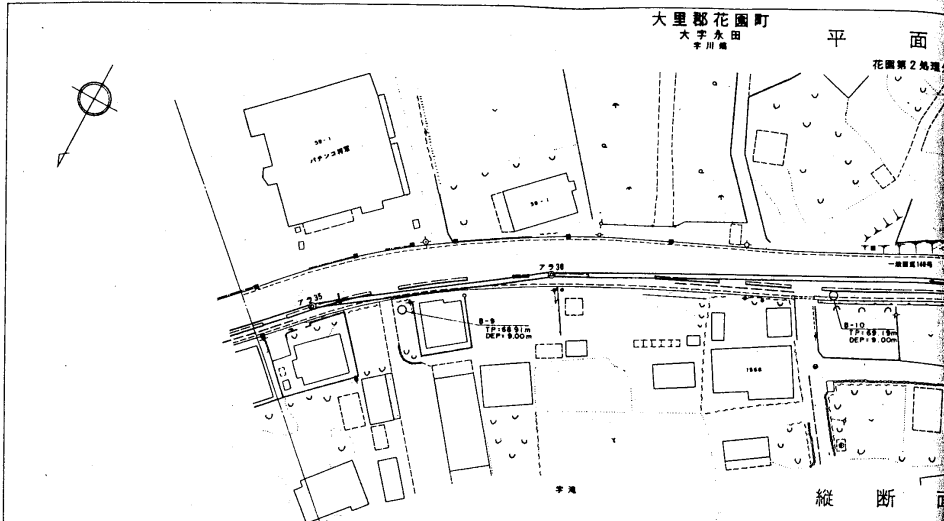
使用水準基準

埼玉県地籍図下基準
平成4年1月1日成果

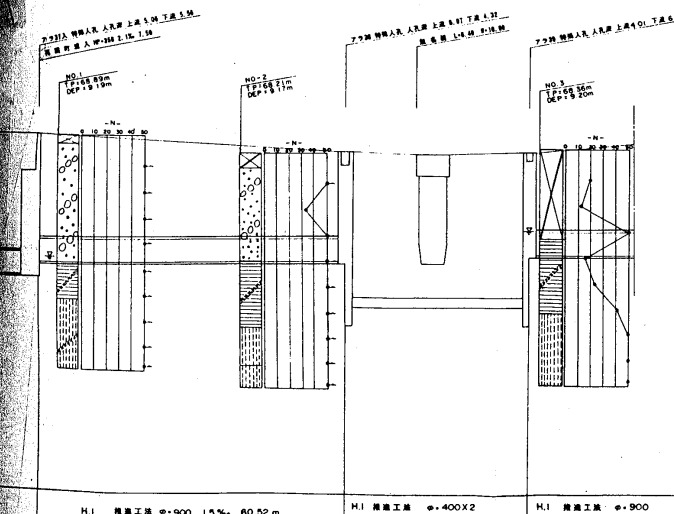
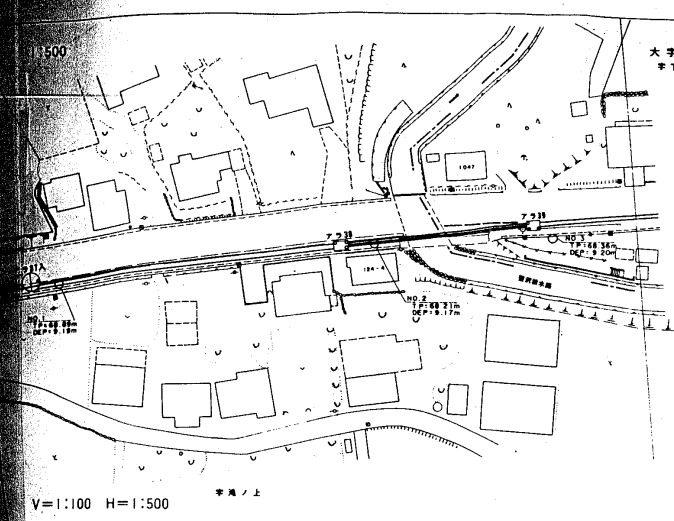
基座番号	真 高	所 在 地
476	T.P. 96.301m	花園町大字永田296-1地内 花園町地籍図参照
53-36	T.P. 74.111m	花園町大字永田1063 花園町地籍図参照
52-26	T.P. 94.841m	川本町大字田中71 川本町地籍図参照

凡 例	
—	行政 区 界
---	処 理 分 区 界
---	幹 線・流 幹 線
○	中間マンホール
□	接続マンホール
⊗	流入マンホール
→	下水の流れ方向
●	公共下水道マンホール
●	備 入 例

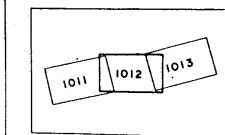
平成五年一月調製



管底高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
管頂高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
管底高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
管頂高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
管底高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
管頂高	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00



管種	管径	管長	管底高	管頂高	管種	管径	管長	管底高	管頂高					
H.1 埋設工法	φ-900	1.5%	60.52m		H.1 埋設工法	φ-400X2	0.4%	35.88m		H.1 埋設工法	φ-900	1.5%	59.97m	
管底高			55.00	55.00	管底高			55.00	55.00	管底高			55.00	55.00
管頂高			55.00	55.00	管頂高			55.00	55.00	管頂高			55.00	55.00
管底高			55.00	55.00	管底高			55.00	55.00	管底高			55.00	55.00
管頂高			55.00	55.00	管頂高			55.00	55.00	管頂高			55.00	55.00



管渠断面図
1:50

下水通流速度



埋込曲管



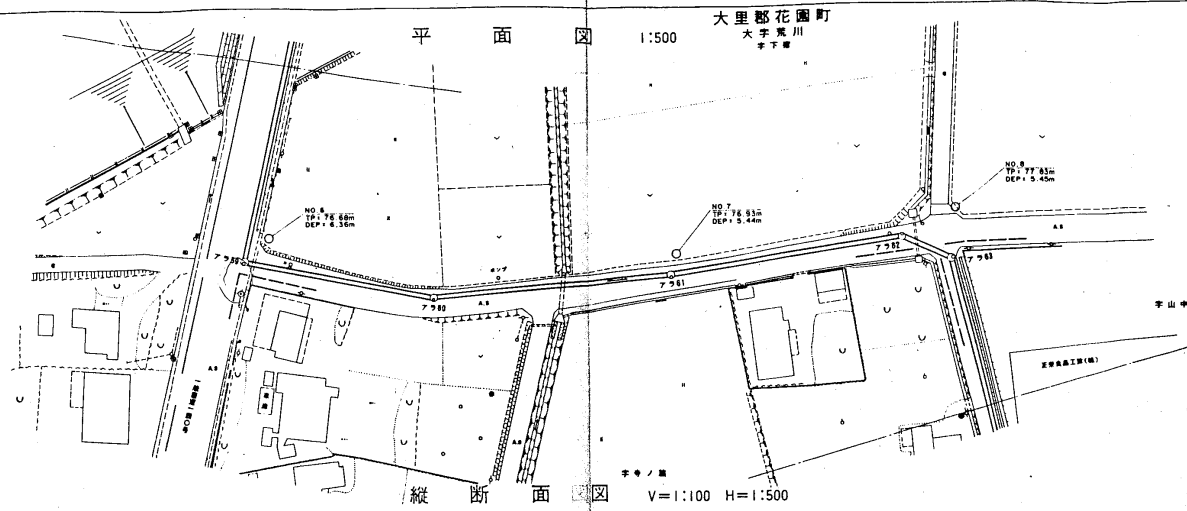
使用水準基準

基準番号	基準名	所在地
476	T.P. 96.30m	埼玉県大里都花園町大字永田1083番地
53-96	T.P. 74.11m	埼玉県大里都花園町大字永田1083番地
53-96	T.P. 88.84m	埼玉県大里都花園町大字永田1083番地

凡例
行政境界
処理分界
幹線・支線
中間マンホール
接続マンホール
流入マンホール
下水の流れ方向
公共下水道マンホール
個人

荒川上流流域下水道台帳図
図面番号 1020 (荒川上流幹線)

埼玉県



管渠断面図

1:50

下水道用推進管



流体力学的計算による管

使用水準基標

埼玉県地盤沈下基標
平成4年1月1日成果

基標番号	高さ	所在地
476	T.P. 66.301a	花園町大字花園155-1地内 花園町立図書館前
53-30	T.P. 74.111a	花園町大字花園1043 花園町立図書館前
57-28	T.P. 58.841a	川本町大字田中71 川本町立川本小学校前

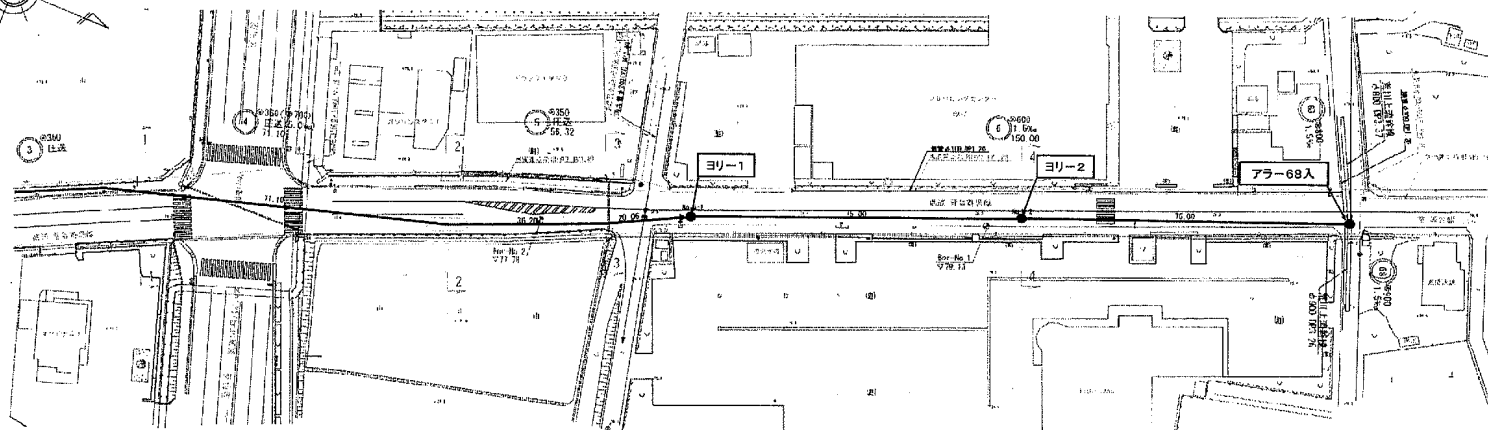
凡 例	
-----	行政境界
-----	処理分区界
-----	幹線・準幹線
○	中間マンホール
□	接続マンホール
⊙	流入マンホール
→	下水の流れ方向
●	公共下水道マンホール
●	個人

管渠番号	管径	勾配	管長	起点標高	終点標高	管底標高	管口標高
H.3 普通工事	φ900	0.6%	50.03m	77.40	77.17	77.17	77.40
H.2 補込み継ぎ工事	φ900	3.1%	37.83m	77.17	77.17	77.17	77.40
H.2 補込み継ぎ工事	φ900	2.6%	46.28m	77.17	77.17	77.17	77.40
H.2 補込み継ぎ工事	φ900	1.8%	63.55m	77.17	77.17	77.17	77.40

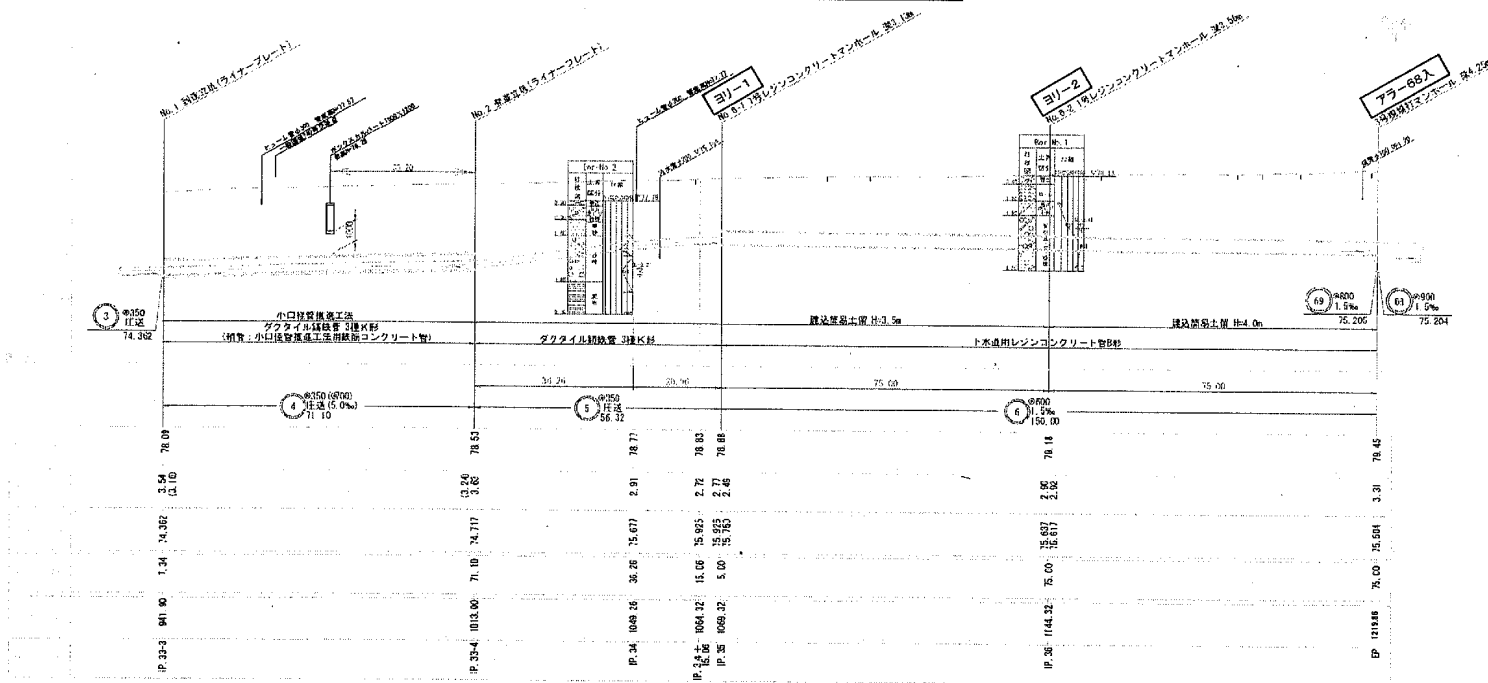
2-17 ← 2-18

平面図 縮尺 1:500

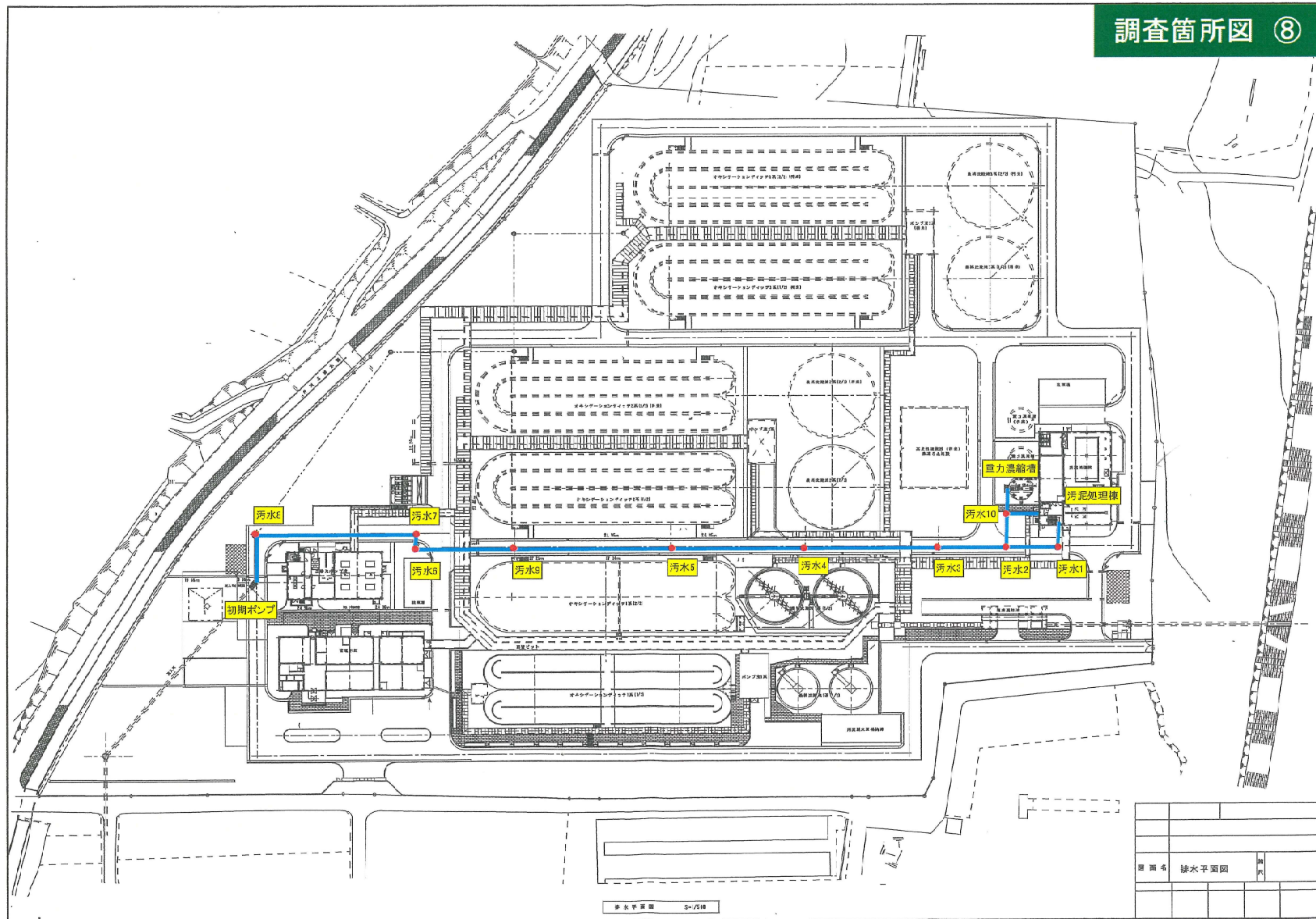
2 1



縦断面図 縮尺 横 1:100 縦 1:500



調査箇所図 ⑧



場内返送管平面図

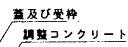
図面番号 1012

平面图

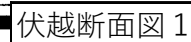
(A - A)



(C - C)

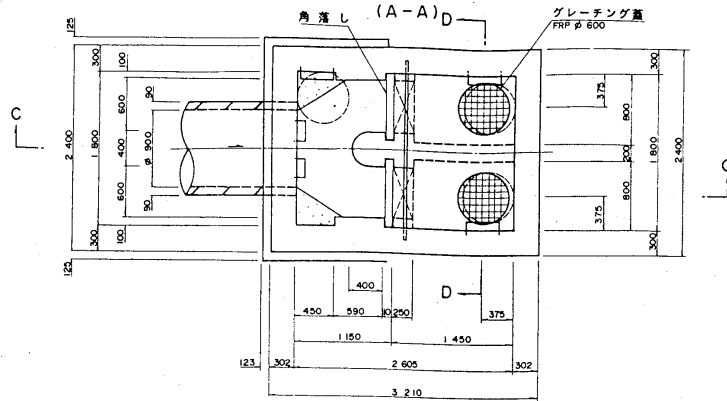


(D - D)

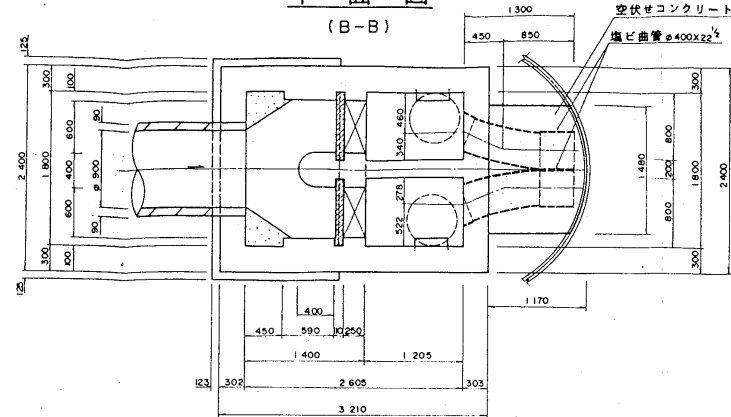


特殊人孔構造図(伏越) S=1:30 図面番号 1012
アラ39

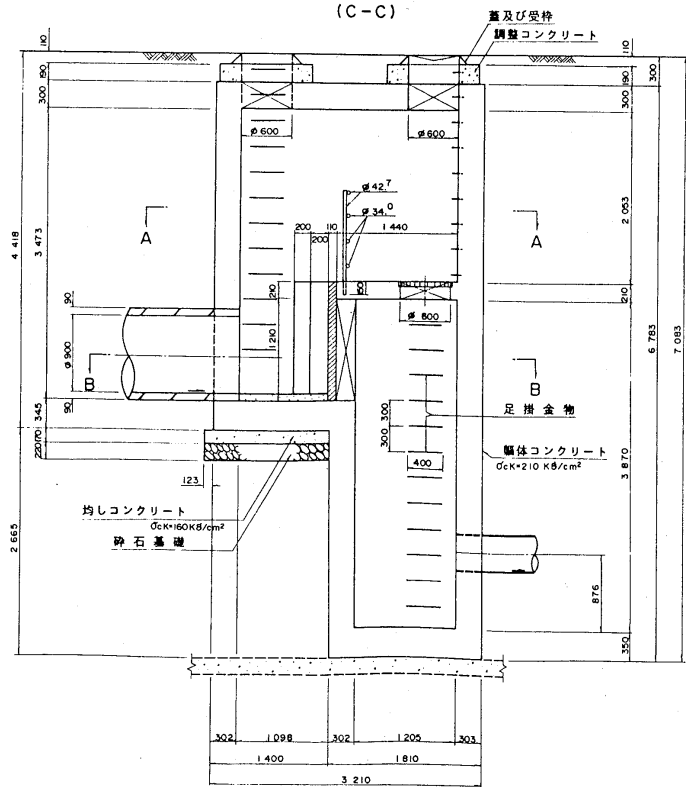
平面図



平面図



断面図



断面図

